伊豆市の教育（案）

2026. 05. 07 版

〔めざす子ども像〕
- 夢や希望を持ち困難なことにもチャレンジできる子ども
- 時代の変化に対応し、心豊かにたくましく生きる子ども
- 多様性を受け入れ、協働して新たな価値を創造できる子ども
- **「伊豆っ子宣言」**に基づき、ふるさと伊豆市の良さに気づき、地域の一員としての自覚を持つ子ども

未来を創造する 伊豆人(いずびと)づくり

〔静岡県教育大綱〕〔静岡県教育振興基本計画 2025-2028〕
- 未来を切り拓く人材育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現

〔第３次伊豆市総合計画基本構想･前期基本計画(2026～2030)〕
- 守りながら 変わり続ける町 伊豆市

＜伊豆市教育大綱＞ ＜伊豆市生涯学習大綱＞ ＜伊豆っ子宣言＞
- 次代を担う子どもたちの主体性・創造力・豊かな人間性を育む教育の充実

伊豆人とは「伊豆市で育ったことに誇りを持ち、夢やこころざしをもって学び続ける人」

未来を描き社会をつくる主体的な学び手の育成

○よりよい人間関係を構築し、多様な他者を尊重し協力する力を育む
① 静岡版 SEL を活用したコミュニケーションスキルの向上
② 発達支援的な生徒指導の推進（サポートルームやいごこちの活用）
③ 不登校傾向や困り感を抱える児童生徒への SC・SSW なども交えた組織的な対応（特別支援コーディネータの工夫）
④ 小規模校や特別支援学級などとの交流活動等の推進
⑤ 子どもの発想や意見を取り入れた行事や生活ルールの工夫

○確かな学力を身に付け、興味･関心を育み得意を伸ばす
① 「教える・そろえる授業」から「子どもが主体的に学ぶ授業」に
② デジタル学習基盤を活用した主体的な学びや個別最適な学びの工夫
③ 子どもの発想を大切にした探究的な学習の推進
④ 地域資源を活用した体験活動や実学の充実及び探究的な学習の推進
⑤ ＩＣＴ機器やＡＩドリルを活用し、個々の子どもの興味関心を高める工夫

○命を守り、健康でたくましい心身を育む
① 防災教育を核とした、自らの命を守るための危険回避能力を育む
② 学校安全計画と危機管理マニュアルの各校の実態に適した見直し
③ 新体力テストや体力アップコンテストを活用した体力づくり
④ 自らの健康を保持･増進する習慣や力の育成(スマホやゲームのルール)
⑤ メディアリテラシーやデジタルデトックスに考慮した良好な睡眠を促進する

愛郷心を育む教育の推進と教育環境の整備

○「伊豆っ子宣言」を踏まえ、家庭・地域・学校が一丸となって子どもたちに寄り添い、ふるさとへの誇りや愛郷心を育む
- 伊豆っ子宣言の意識を深めるための啓発活動の継続（休業中のカード、行事の活用）
- 伊豆っ子宣言を意識した「ふるさと学級」の内容の充実

○幼児教育から中等教育までを見通し、園や学校間の連携を推進する
- 福祉と教育の連携による支援の継続（子どもの育ちに沿った支援体制の構築）
- 伊豆総合高校との連携、小中学生向けの体験活動、地域学習の充実
- 伊豆市教育センター事業、保こ小での架け橋活動の充実　等

○子供が安心して過ごせるよう、学校と家庭をつなぐ環境を整える
- 放課後児童クラブ、居場所事業を円滑に運営するための連携の
- 家庭教育講座の充実による保護者への啓蒙（家庭教育支援員等の活用）
- 公共施設の適正化、跡地活用（修善寺地区小学校再編、中伊豆小の移転事業）



共創

地域社会を創る喜びと自分を高める学びの推進

○伊豆市が誇る文化・芸術資源を活用し、感性豊かな心を育む
- 伊豆市に伝わる文化芸術の振興とともに、伝統行事を担う人材育成への協力
- 文化資源や芸術に触れ合う機会の創出（地域学習やゲストティーチャーの推進）

○共生社会の実現と地域のつながりを育む
- 多世代間の交流機会の推進と障がいを抱えた人の理解および交流機会の工夫
- 地域とのつながりを意識した図書館事業への参加協力
- ライフステージに応じたイベントや講座への参加により視野を広げる

○地域の魅力を知り、実学にふれ、いきいきと暮らす市民を育む
- 学校運営協議会を機能させ、地域学校協働活動を通して地域のつながりを創っていく
- 実学、探究学習の推進と地域資源の活用（ヒト・モノ・コト）
- 民俗芸能等の後継者意識の醸成に向けた協力

縦の接続（こども園・保育園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校が連携した一貫教育）
- 保こ小中高のふれあい、交流事業（子ども及び職員）
- 幼小をつなぐ架け橋プログラムの実践　・目に見える共通の取組の検討（挨拶）
- 保こ小中から高まで連続したキャリア教育　・地域貢献活動やﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の推進

家庭・地域との連携

横の連携（保こ連携・小小連携・中中連携）
- 授業、テスト、学校行事、修学旅行等の交流（小規模のデメリットの解消）
- 共通テスト、博士テスト、新体力テスト等の結果の共有による切磋琢磨
- 園および学校同士の情報やデータ共有･活用による業務改善の推進
- 子どもと向き合う時間確保のためのＤＸ推進や働き方改革を意識した業務改善の共有